

京橋共同法律事務所・友の会30周年記念行事

だいたう 議会報告



地域から貧困問題を考える

記念公演をする長友薫輝氏

一月二十四日(日)午後二時から京阪天満橋駅OMビルで、京橋共同法律事務所開設三十周年記念シンポジウムがありました。大東市を始め門真市・守口市など、各地域からの参加者が会場を埋める中で、各弁護士との紹介が行われ、その後、津市

立三重短期大学の長友薫輝準教授が「地域から貧困問題を考える」門真国保実態調査から」とする記念講演がありました。講演では、貧困状態に置かれていく人々の増加・セーフティネットの機能不全状態・自己責任論の浸透と孤独・孤立状態に置かれている人々の増加・人々の生活を支えるには何が大事か?など、貧困率や生活保護率・あるいはその補足率といった具体的な数字をあ

中村鎮夫さんを含め、三人のパネラーと、弁護士事務所からは牧弁護士がコーディネーターとして、また記念講演の長友氏がアドバイザーとして列席し、二つのモデルケースを例に挙げてディスカッションを行いました。ホームレスだけが貧困ではない。あり地獄のような「滑り台社会」では、誰が落とされても不思議ではない状況だという報告もあり



げてお話をいただきました。引き続きパネルディスカッションでは、大東市の

ました。ますます地域において生活を支えるセーフティネットの存在と役割が求められてきています。

1月23日(土)

映画『いのちの山河』上映会



感動の涙溢れる映画に、観覧者の心が一つに!



上映に先立つ挨拶は1回目は松久よしき氏、2回目の上映前には孝忠延夫氏が実行委員会を代表して行いました。

特に今回の映画では、その制作から上映に至る過程で協力した全国の団体名などがエンドロールと呼ばれる字幕で紹介されているので、最後まで見ていってくださいとの実行委員会からのお願いもあり、上映後も長く感動を味わうことが出来ました。貧困・多病・豪雪の三重苦にあきらめて暮らしていた人々に「行脚と対話」で村民を奮い立たせる姿勢に大きな共感を覚えます。

いのちに格差があってはならない!との医療費無料化への強い思いが、時には多くの抵抗にあいますが、憲法の理念を全面に押し出しながらねばり強く国や県とも闘っていく姿が印象的でした。

全国でも最悪だった乳幼児の死亡率を、全

国初の死亡率ゼロへと導いた生命行政が、今日の私たちの回りでも強く求められていることではないでしょうか。「健やかに生まれ育ち、そして老いてゆく」そんな当たり前なことが奪われている現在に生きる私たちに、メッセージを送る映画会となったのではないのでしょうか。



市議員 じげき勉 つとむ



市議員 とよあし勝子 かっこ



市議員 とびた茂 しげる

TEL.090-3864-5037

TEL.090-1079-8939

TEL.090-7099-8429

法律相談

2月2日(火)7時~
大東市民会館
※先着順です
871-5588まで

第27回大東市こども会駅伝選手権大会 第25回大東中央ライオンズクラブ旗争奪戦

17日(日)午前9時半から治水緑地・大芝生広場で「こども会・駅伝大会」が開催され、古崎勉・豊芦勝子・飛田茂、3人の議員団が参加して声援を送りました。

大芝生広場の外周路を6区間に分けて、それぞれの区間走者がバトンの代わりにたすきをつないで走る競技です。

開会式のあと、準備体操を十分にしてからスタートするのですが、右の写真のように体が冷えているときにはジャンパー・コートを着ていた選手たちですが、レースが始まるまでにはランニングウェアに着替えて更にウォーミングアップ。スタートの合図と共に一斉に走り出しました。(写真下)



駅伝は男女に分かれて行われましたが、走る距離は学年ごとに、1年生=300m、2年生=500m、3年生=700m、4年生=900mと変わりますが、5年6年はそれぞれ1300mを走ります。

会員数の多いこども会はA・Bチームなど、複数エントリーが可能です。また、少ないこども会同士で合同チームを作ることも出来ます。

選手になれなかったこどもたちが芝生の上を走りながら「ガンバレー」と大声援。

ライオンズクラブが恒例のぜんざいを準備してくれて、それを食べながら声援する大人たちの姿もありました。



大東年金者組合・新春の集い開催

21日(木)市民会館で行われた集いに古崎勉、豊芦勝子、飛田茂の議員団は揃って参加・挨拶を行いました。



第2部では昼食のお弁当を食べながら、市内各分会の紹介や出し物が演じられました。

独唱=大分県の「久住高原」や小唄=「天国に結ぶ恋」大崎心中、舞踊=「松の木小唄」などなど、ここでしかお目にかかれない貴重な演目が披露され、大きな拍手を浴びていました。

最後のプレゼント交換前には歌声クラブ「たんぼぼ」が、会場参加者と共に懐かしい曲目を含めて、元気に楽しく歌いました。

今年も市職労「旗びらき」

1月15日、市民会館大ホールで市職労の新春旗びらきが行われました。冒頭、橋川委員長が「激動の情勢の下、今年は大きな前進を勝ち取る年にしよう」



と元気よく主催者を代表して挨拶。

出席した来賓紹介の後、大阪自治労連代表が挨拶され、続いて劇団「若駒」による太鼓と獅子舞の披露があり、新春らしい華やかな雰囲気になりました。



このほか、保育士が多数登場した保育部の鳴子踊りや大抽選会で参加者は大いに楽しみました。